

蓬田

広報

yomogita
village

秘境「黒滝」

目次

- 村の出来事 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 1
- 特集 新規就農者 ○ ○ ○ ○ 3
- こんにちは！保健師です ○ 5
- お知らせ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 6
- 成人式、戸籍の窓口 ○ ○ ○ 7



9

リーダー研修会で、児童たちは黒滝を目指しました。山道を越え黒滝に着くと、滝つぼに飛び込んだりして「冷たくて気持ちいい！」と夏休みを満喫しました。

2014 No.497

7
24

子ども会リーダー研修会 黒滝散策に挑戦

7月24日（木）、25日（金）の2日間にわたり、平成26年度蓬田村子ども会リーダー研修会が行われました。参加した16名の小学生は、玉松台スポーツガーデンにテントを張り、キャンプや黒滝散策などの野外活動や、発明教室、炊事の仕方など、日常生活では得がたい様々な体験をしました。



※黒滝へ行く場合は、道路の決壊等にご注意ください。

大雨が降った後の川の増水などにより、黒滝への道路が決壊していることがあります。入山前に役場産業振興課 ☎ 27-2111 に確認することをお勧めします。



▲ガイドマップもご利用ください

7
26

蓬田村ねぶた運行 夏の風物詩を満喫！

村ねぶた実行委員会による、ねぶた運行が行われました。文化伝承館前から蓬田漁港までを3台のねぶたが運行。日が暮れてねぶたに灯が入られると、より一層迫力を増し、見る人を圧倒。笛や鐘、太鼓の囃子方に続き、たくさんの村民が練り歩き、沿道の観客を楽しませていました。



7
30

婦人会交流会 風間浦村との交流

「元祖イカ様レース」や「下風呂温泉」で有名な風間浦村の婦人会22名が来村し、当村婦人会との交流会を行いました。

一行はトマト選果場の見学や、坂本信義さん（中沢）のハウスでトマトの収穫体験を行いました。また蓬田村ねぶた囃子愛好会の演奏を聞いたり、蓬田音頭を踊るなどして交流を深めました。次は風間浦村での開催を約束し交流会は幕を閉じました。



7
31

特殊詐欺防止ハガキを配布 詐欺被害防止へ注意喚起

トラブル解決名目などによる高齢者の特殊詐欺被害を防ぐため、外ヶ浜、今別、蓬田の3町村で全世帯に注意を呼びかけるはがきを配布しました。発送式で久慈村長は「少しでもお年寄りへの被害を抑えられたら嬉しい」と話し、青森西郵便局長へはがきを手渡しました。



8
3

蓬田村民野球大会 暑さに負けず好プレー

蓬田村民野球大会が玉松スポーツガーデンで行われました。中学生から40代まで幅広い年代の約20名がA・Bチームに分かれ、熱い戦いを繰り広げました。観客も多数集まり「パパがんばれー！」などの声援や歓声があがっていました。



8
3

食の味力発見 in 蓬田村 旬のトマト食べ比べ

蓬田村と東奥日報社によるイベント「食の味力発見 in 蓬田村」がマルシェよもぎたで開催されました。会場では暑い中、来場者が長い行列をつくり、氷水で冷やされたトマトを次々に受け取りました。

また、青森市油川のイタリア料理店アデッソの協力により、新品種トマト「アマルフィの誘惑」と「華小町」をソースに使った濃厚なトマト本来の味を生かしたパスタ料理も振る舞われました。

青森市から来た女性は「甘酸っぱくてトマトのフレッシュ感が美味しい」と旬のトマトを味わっていました。

- | | | | |
|---|-------------------------|---|---|
| 1 | 冷たい氷水の中から
トマトをつかみ取り | | |
| 2 | アデッソの協力で作られ
たトマトパスタ | 2 | 1 |
| 3 | 子どもにも「美味しい」
と評判の出来です | 3 | |
| 4 | 長い行列ができました | | 4 |



村の農業に新たな力

— 新規就農者の紹介 —

蓬田村で農業を営む農家の数は、平成22年農業センサスによると295戸となっています。昭和60年の559戸に比べ、半数近くまで減少しています。農家の高齢化や後継者不足が課題となりつつある今、新たに村でトマトを作る4人の新規就農者を紹介します。

次の世代へつなぐ

中村英志さん（41歳・写真右上）は脱サラし東京からUターン。青森に合った暮らしがしたい、と農業を始めることを決意。県の相談会に参加し、トマトを作ることを薦められた。青森市孫内での研修の中でトマト部会との繋がりを持ち、蓬田村での農業にたどり着いた。「一から農業を始めるにあたって、多くの方に支えられ勉強させてもらった。ゆくゆくは次の世代に教える立場になって、この恩を返していきたい。」と意気込みを語る。

蓬田産トマトを

全国に広げたい

村に貢献したい

石田和則さん（37歳・写真右下）は福島県生まれ。仙台市で飲食店を経営していたが東日本震災で被災したことをきっかけに、農業の道を選んだ。「震災後は店に出す食材がなかった。故郷の福島では安心して食べられる物が無い。自分がそういう人の助けになりたい。」と想いを語る。「トマトは手をかけた分だけ応えてくれる。子どももみたいなもの。」と農作業を楽しんでいる。村に住み、地域の人たちと交流し、村に貢献していきたいと将来のビジョンを描く。

若者を雇用したい



トマトイメージキャラクター
よもぎた4姉妹

農業を始めたいけれど、栽培や経営の技術、農地・資金・所得の確保といった不安や悩みを抱える人がほとんどです。安心して農業を始め、継続していけるよう就農支援が行われています。

●青年就農給付金（準備型）

《概要》 就農予定時の年齢が45歳未満の者が、指定の研修機関でおおむね1年以上就農研修を受ける場合、研修費用を給付します。

《支援内容》 研修期間中（最長2年間）、年額150万円の給付金を、原則6ヶ月毎に支給する。

●青年就農給付金（開始型）

《概要》 村の「人・農地プラン」に位置づけられている、45歳未満の新規就農者に最長5年間、給付金を給付します。

《支援内容》 就農後（最長5年間）、年額150万円の給付金を、原則6ヶ月毎に支給する。

※給付金には様々な条件があります。詳しくは役場産業振興課 ☎ 27-2111 までお問い合わせ下さい。



蓬田産トマトを青森から全国へ Vegetable shop マグワートトマト

毎日とれたてのトマトを販売。「地方発送やネット販売を通して蓬田産トマトを全国へ広めたい。」と小田桐さんの妻・雅子さん
青森市古川1丁目17-12
☎ 017-777-8155



農地中間管理機構が農地を『貸したい方』 『借りたい方』を募集しています

～農地中間管理事業で有利に規模拡大を！～

公益社団法人あおもり農林業支援センターでは、経営規模を縮小する出し手農家から機構（支援センター）が農地を借り入れ、公募に応募し公表された規模を拡大する受け手農家に、まとまった農地を貸し付ける農地中間管理事業を実施しています。

受け手の公募は、機構（支援センター）のホームページに掲載するほか、役場産業振興課の窓口に応募用紙を用意してありますので、ぜひ応募してください。

応募は、10月末、翌年1月末に取りまとめて翌月に公表することにしています。

また、農地を機構（支援センター）に貸したい希望者（出し手）についても、受付けを開始します。

農地中間管理事業のメリット

【農地を貸す方】

1. 契約期間が終われば農地は確実に戻ります。
2. 機構が賃借料を支払いますので、安心・確実で、手間がかかりません。
3. 「特例付加年金」を受給できます。
4. 特定の要件を満たせば、「機構集積協力金」が受けられます。

【農地を借りる方】

1. 毎年の賃借料の払い込みは、機構に申し込めば、口座から自動振替が可能になり、手間がかかりません。
2. 地主が複数いても、機構と契約するだけで済みます。
3. 機構からまとまった農地（受け手の要望に応じて簡易な基盤整備をする場合もある）を借り受けることで、農作業の効率化が可能です。

■詳細は下記までご相談ください

▶問い合わせ 役場産業振興課 ☎ 27-2111 または
あおもり農林業支援センター ☎ 017-773-3131

小田桐克さん（50歳・写真左上）は東京で30年暮らし、ITの開発の仕事をしてきた。その経験を生かし、農業で新しいビジネスにチャレンジしたいとトマト農家になることを決意。小田桐さんは自身でトマトを売る店《マグワートトマト》を青森市古川にオープン。「蓬田村のトマトを日本一有名なトマトにしたい。」と販売にも力を入れる。

奈良卓さん（32歳・写真左下）は自営業を志し、関東から青森に戻った。トマトの研修を受ける中、JAから蓬田を紹介してもらった。「蓬田は人が優しく、声をかけてくれるし、あいさつしてくれる。」と地域の人たちの優しさに感謝している。「将来は若者を雇用して、若い人に農業は儲かると教えてやるだけ稼きたい。」と儲かる農業を目指す。



美味しいトマトの産地として話題に 蓬田村産トマト使用のハンバーガー



蓬田村産トマトは大手ハンバーガーチェーンに流通していて、味、品質とも非常に高い評価を受けています。



自殺予防週間、結核予防週間について

9月10日～9月16日は自殺予防週間

かけがえのない命を大切に

全国の平成25年の自殺者は27,283人です。その数は交通事故死亡者(4,373人)の約6倍に相当し、青森県内においても昨年は326人の方々が自殺で亡くなっています。

一人で悩むより、まず相談を

自殺者は多くの場合、病気などの健康問題、失業や借金などの経済問題、介護・看病疲れなどの家庭問題など、さまざまな問題を抱えています。

役場健康福祉課では、毎月1回最終週の水曜日に、精神保健福祉士による「あなたのこころの健康相談」を開催しています。悩みや症状を抱える本人だけでなく、その家族や職場の方からの相談も可能ですので、事前に連絡の上ご利用下さい。

自殺を防ぐために

誰もがこころの健康を損なう可能性があります。自分の家族や隣近所に一人暮らしをしている方、遠方に離れて暮している方々と普段からできるだけ連絡をとりあうようにし、安否の確認や相手を大切に思っていることを伝えてあげましょう。

また、青森市などではこころの健康や経済問題など、さまざまな相談窓口を設置しています。一人で悩まず、家族だけで抱え込まず、まずは相談してみませんか。

9月24日～9月30日は結核予防週間

高齢者の結核が増えています

日本では、毎年新たに2万人以上の結核の新規患者が発生し、約2千人の方が亡くなっています。

結核は過去の病気だと思いつつ、症状が現れても気づかず受診が遅れるケースが多いことも一因となっています。結核にかかっても、きちんと薬を服用すればほとんどが治ります。

ひよっとして結核？ 長引く風邪に注意！

結核の初期症状は風邪に似ています。風邪だと思いつつ、受診が遅れてしまうことで、周囲の人にうつしたり、重症化して命を落とす可能性が少なくありません。



主な結核の症状

- ・2週間以上続く…せき・微熱・たん
- ・急に体重が減る
- ・体がだるい
- ・胸が痛い

乳幼児・高齢者・免疫力が低下している人が発病しやすくなっています。風邪の症状が長引く場合は結核を疑いましょう。心当たりのある方は医療機関を受診し、医師に症状を必ず伝えてレントゲン検査を受けましょう。

こころの相談窓口	電話番号等	受付時間等
NPO 法人あおもりのちの電話 相談電話	0172-33-7830	毎日 12:00～21:00
県民のための自殺予防いのちの電話	0120-063-556	毎月1日(無料) 12:00～21:00
「自殺予防 いのちの電話」 社会福祉法人 いのちの電話	0120-738-556	毎月10日(無料) 8:00～翌日8:00
青森県立精神保健福祉センター こころの電話	017-787-3957 017-787-3958	9:00～16:00 ※
東地方保健所	017-739-5421	8:30～17:15
役場健康福祉課	0174-27-2111	8:15～17:00

多重債務相談窓口	電話番号等	受付時間等
青森県司法書士会 (司法書士を紹介します)	0120-940-230	10:00～16:00
青森県弁護士会「相談案内窓口」青森市	017-777-7285	9:00～16:30
日本司法支援センター青森 地方事務所(法テラス青森) ◎面談による無料法律相談 (収入等が一定額以下である ことなどが要件)	050-3383-5552	9:00～17:00
青森県消費生活センター 青森相談室	017-722-3343	9:00～15:30(土日 祝日 10:00～16:00)

※土日・祝日、年末年始を除く

お知らせ

ニート、ひきこも りでお悩みの方へ

就業経験が無い・長期に
おいて無業の状態にある若
者（15歳～39歳）の職業的
自立を支援しています。ご
本人・ご家族・保護者の方、
まずはお電話ください。出
張相談もしております。予
約制にてカウンセラーや臨
床心理士が対応いたしま
す。相談無料、個人情報厳
守。

■利用時間 8時30分～17
時15分まで

■場所 あおもり若者サ
ポートステーション（青森
県観光物産館アスパム3階
3ヨブカフェあおもり内）

▼問い合わせ
☎017-775-5301

災害に伴う県税の 減免措置について

台風、地震などの災害に
より被害を受けられた方に

は、県税の減免、徴収猶予、
申告等の期限の延長の制度
があります。これらの制度
の適用を受けるには、いず
れも申請が必要です。

詳しくは、東青地域県民
局県税部までお問い合わせ
ください。

▼問い合わせ 東青地域県
民局県税部 納税管理課
（青森市新町二丁目4-30
県庁舎北棟3階）
☎017-734-9970

河川内の雑木を 譲り受けた方へ

河川内の雑木を譲り受け
たい方、自ら伐採し利用し
たい方はご連絡ください。

県では、河川管理上支障
となる河川内の雑木を伐採
し、河川管理に努めていま
す。「県で伐採した雑木を
譲り受けた方」方には提供
していますのでご連絡くだ
さい。また、「河川内の雑
木を伐採し、雑木を利用し
たい」など、ご自身で河川

内の雑木伐採を行いたい方
もご連絡ください。

▼問い合わせ
県土整備部河川砂防課
企画防災グループ
☎017-734-9662

東青地域県民局地域整備部
河川砂防施設課
☎017-728-0260

平成26年度障害者 就職面接会

障害者の雇用促進を図る
ため、左記の日程により障
害者就職面接会を開催いた
します。つきましては、就
職を希望される障害者の方
を募集します。

■日時

平成26年9月18日（木）

午後1時～午後3時30分

■場所 ホテル青森 3階
孔雀の間（青森市堤1-1
-23）

※参加費 無料

▼問い合わせ 青森公共職
業安定所 専門援助部門
伊藤・秋元

☎017-776-1561

9月11日は 警察相談の日

警察本部では、相談電話
として「#9110番」ま
たは「☎017-735-
9110」を開設し、専門
の相談担当者が対応してい
ます。

■DV暴力相談 ■高金利に
関する相談 ■サイバー犯罪
に関する相談 ■ストーカー
相談 ■薬物乱用の相談 ■振
り込め詐欺などの相談

のほか「ヤングテレホン」、
「性犯罪110番」などの
相談窓口も開設していま
す。

相談は24時間受けていま
すが、専門相談担当者に相
談したい場合は、平日の日
中に相談してください。相
談は無料で、プライバシー
は厳守されますので、安心
してご相談ください。

▼問い合わせ

☎#9110番または
☎017-735-9110

または外ヶ浜警察署
☎22-2211

あおもり温泉 体験まつり

東青地域（青森市、平内
町、今別町、外ヶ浜町、蓬
田村）では、様々な体験プ
ログラムと一緒に楽しめる
「あおもり温泉体験まつり」
を開催します。

■開催期間

平成26年9月21日（日）～
平成26年10月19日（日）

■開催場所

東青地域の温泉周辺

■村内開催のプログラム

○「健康布ぞうり講習会」

9月27日（土）11時～

○「黒滝トレッキング」

10月4日（土）10時～

○「新そばでそば打ち体験」

10月12日（日）10時～

※それぞれ千円程度の料金
がかかります。参加には予
約が必要です。詳しくは県
庁HP (<http://www.pref.aomori.jp>) か《あおも
り温泉体験まつり》で検索

▼問い合わせ

東青地域県
民局地域連携部
☎017-734-9412



8/14

懐かしい友人との再会

平成26年度蓬田村成人式が、ふるさと総合センターで行われ、新成人32名(男12人、女20人)のうち26人が出席しました。久慈村長らの祝辞のあと、中学校時代の恩師である福井先生が「人との関わり、人とのつながりを大切に、大きく成長して欲しい」と新成人を激励しました。高田聖也さん(郷沢)が新成人を代表して「自分らしさと明るさ、周囲の人を思いやる気持ちや忘れずに志を持ってこれからの人生を生きていきます」と誓いのことばを述べ、大人としての自覚を新たにしました。



▲ 恩師の話に感慨深げな新成人



▲ 昔書いた自分宛の手紙を開封



▲ 誓いのことばを読み上げる高田聖也さん

戸籍の窓口

【7月受付分】(敬称略)

■ご冥福をお祈りします

- 坂本 ヒサエ 85歳 (中 沢)
- 青木 照子 86歳 (阿弥陀川)
- 長谷川 溥 81歳 (郷 沢)
- 福田 通隆 67歳 (郷 沢)
- 久慈 美代恵 71歳 (広 瀬)

■蓬田村の人口 (7月31日現在)

区分	人口	前月比
総人口	3,074	- 3
男	1,483	- 3
女	1,591	± 0
世帯数	1,165	+ 3

9月は国保税3期分、固定資産税2期分の納付月です。

※切り取り

よもぎ温泉
入浴ご優待券

(1枚で5名様限り有効)

大人入浴料 50円引 (350円→300円)
有効期限:平成26年9月30日
☎ 0174-27-2170
定休日:火曜日(火曜祝日の場合は翌日)

9月の行事 ※無料送迎バス有ります

蓬田村敬老会

- 期日: 9月11日(木)
- 時間: 午前10時30分から
- 場所: トレーニングセンター

よもぎた村民祭

- 期日: 9月14日(日)
- 時間: 午前9時から
- 場所: ふるさと総合センター